

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 北部九州ぬくもりのある快適住宅

グループの名称 よか家づくり普及促進会

直近採択グループ番号 06-0195-0739

(グループ代表者)

代表者名	栗原 孝太郎	代表者印
代表者所属先	株式会社孝和建设	
代表者所在地	佐賀県唐津市原1471番地1	
代表者電話番号	0955-77-2335	

(グループ事務局)

事務局事業者名	株式会社栗原木材店	
事務局担当者名	池田 美真	印
事務局郵便番号	847-0031	
事務局所在地	佐賀県唐津市原1360番地1	
事務局電話番号	0955-77-0221	
事務局FAX	0955-77-0223	
事務局担当者E-mail	info@kurihara-m.co.jp	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		16	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	16	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	10	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸	
			高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸
						加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸
							上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸
						その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸
						加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸
							上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸	
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		7	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	7	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		3	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	棟					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	棟					
長寿命型に関しては、未経験工務店へ優先的に配布する。高度省エネ型に関してはZEHビルダーもしくはBELS取得済みの工務店を優先的に配布する。どちらもし引き抽選で最終決定となる。									
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	8	戸	交付申請戸数	8	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	8	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州ぬくもりのある快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全九州及び広島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) よか家づくり普及促進会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0195-0739	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	冬の寒さは日本海側の気候の一面も見せ、経度の割には厳しく、東京よりも寒くなる事もある為、断熱性能を重視し、平成25年省エネ基準の断熱等性能等級4とする。 佐賀県南部の平野部では軟弱地盤が多い為、耐震性能を重視し、スウェーデン式サイディング試験では、4ポイント以上か、レイリー波での地盤調査を実施する。(非住宅は除く)	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	夏場の西日対策として、主要な窓についてはLow-Eガラス以上の性能とする。 (非住宅は除く)	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	玄界灘等の海から、北西のこち良い風が一年を通じて多い為、通風を配慮した窓計画をする。	◎
④①～③の背景	佐賀県を中心とした北部九州では、夏期においては多雨な太平洋側気候の一面を見せつつ、冬場においては日本海側気候の一面も見える二面的な気候が特徴。玄界灘等の海から、北西のこち良い風が一年を通じて多い。 また、佐賀県南部には軟弱地盤が多い。九州には生産地として豊富な森林があり、地域の山林資源を有効活用することができる。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	地域材を活用した当会の家作りや活動をPRする為に、チラシ等を作成し配布する等、エンドユーザーに対して告知を行う。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 土台は、国産松の105角または102角以上とする。(非住宅は除く)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 断熱材メーカーと省エネ機器メーカーの商材のパッケージ化をする。(非住宅は除く)	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造材(土台・柱)は105角または120角に統一し、桁梁材も105巾または120巾に統一する。(非住宅は除く)	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 省エネ機器メーカーのパターン化を行う。(非住宅は除く)	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局として、商品を絞ることによるコスト削減と省エネ計算等を含めた数値資料の合理化を行う。(非住宅は除く)	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: よか家づくり推進委員会を設置し施工構成員を中心として生産の合理化に取り組む。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局は推進委員長と協力し、新商品や施策情報を収集してグループ内に周知する。また、各社の技能の向上と生産の合理化に向けて研修会への参加を促していく。 様々な申請書類の代替履行もおこなっていく。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: フラット35SのH25年度省エネ基準の断熱等性能等級4を満たす基準を遵守し、瑕疵担保責任保険法人の防水基準も遵守する。 (非住宅は除く)	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 瑕疵担保責任保険法人の基礎配筋検査・上棟金物検査に加え、防水検査も実施する。 (非住宅は除く)	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 消費者にわかりやすく、明確に伝える為、グループ共通の見積書のフォーマットを作成し、工種毎の明細を提示する。 設備機器メーカーの商品に関しては、プランシート等を添付する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループのHPを立ち上げ、施工構成員と共に、当会の取組みや各施工構成員の取組みを紹介する。また、統一したコンセプトブック・カタログを作成する。 現場の完成見学会において、地域材の普及に向けた展示をする。	○
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工時期の平準化、全面的なICTの活用、書類の簡素化により生産性の向上を進めて、週休2日制の導入に向けて推進していく。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 技能・経験にふさわしい処遇(給与)が実現するよう、建設技能者の能力評価制度の策定を検討し、その制度をもとに高い技能・経験を有する建設技能者の能力を適正に評価することを推進する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 工事施工について下請の建設業を含め、社会保険加入業者に限定していくように構築していく事を検討する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 安全及び健康の確保に必要な措置が、設計・施工等の各段階において適切に講じ、安全及び健康に関する意識を高めることにより、安全で衛生的な作業の遂行を推進する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	長寿命型、高度省エネ型の未経験工務店が多い施工構成員でグループを組成している為、今年度は7割以上、再来年度は全ての施工構成員が長寿命型か高度省エネ型の住宅を施工する事で、信頼性を高めた施工力のあるグループにしたい。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州ぬくもりのある快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全九州及び広島県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) よか家づくり普及促進会	(結成年) 2015 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0195-0739		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅蓄積情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は情報登録機関を基本としたシステムでデータ管理する。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 将来の点検時期を知らせるメールをセットし、定期点検の履行を行う。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局がIDを取得し、いつでも蓄積状況を確認できる。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長寿命型も高度省エネ型も、長期優良住宅の維持管理計画に準じて、35年の点検を実施する。(非住宅は除く)	○
		②-2 補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住まいの管理に関する相談会を実施する。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催の年1回の住宅イベントに木工教室等の体験会を設ける。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各施工構成員も、自社の完成見学会等のイベントで住まいの管理に関する相談会を実施する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: よか家づくり普及促進会が維持管理検討を行う。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が施工構成員に情報発信する。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工構成員が廃業した場合は、情報登録機関のシステムを活用して、事務局が代替履行できる他の施工構成員をお施主様に紹介する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 瑕疵担保責任保険の防水検査を実施する。瑕疵担保責任保険の延長制度の導入を適宜、施工構成員がお施主様へ案内する。(非住宅は除く)	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		事務局が運営する住宅総合ショールーム内に、消費者相談窓口を設けて、メンテナンスやリフォーム工事に対応する。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未経験工務店向けの講習や相談会を開催する。加えて、経験工務店と事務局とメーカーによる協力体制を構築し、講習会を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今年度は全ての施工構成員が少なくとも長寿命型も高度省エネ型の住宅を施工する事で、グループとして技術力をあげていく。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ義務化に対応するため、外皮計算・エネルギー計算の講習を行う	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員は適合証の申請を行い、施工構成員を支援する取組を行う。	○	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 2	◎	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 5	○	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 未受講者リストを作成して、事務局が講習会開催予定表を地域協議会より入手し、該当者へ通知し、確実に受講する様に促す。	○	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ機器メーカーの新商品発表会等の勉強会を適宜実施する。	○	
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 該当ありません。		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		グループとしての技術の向上を目指し、同じ業種での会合だけではなく、他の業種との最新技術情報共有の場を定期的に設ける。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 北部九州ぬくもりのある快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 全九州及び広島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) よか家づくり普及促進会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0195-0739	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須) 主要構造材につき、次の証明制度を利用する。 土台：合法木材証明制度(国内) 柱：合法木材証明制度(国内・国外) 桁・梁：合法木材証明制度(国内・国外)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須) <input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須) 主要構造材 土台： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等： <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等： <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明 <p>地域材が合法木材証明による説明フロー図</p> <p>I 原木供給 (原木市場) → II 製材 (製材業) → IV プレカット (プレカット) → III 建材流通 (建材流通) → VI 施工 (工務店)</p> <p>合法性が証明された原木を分別管理して販売(認定証) → 合法性が証明された原木を分別加工(認定証) → 合法性が証明された製品を分別管理して販売(認定証) → 合法性</p> <p>各業者への認定書は業界団体(県木連、日合商、全市連等)より交付。</p> <p>・このフローは代表的な例を示す。 ・原木・製材構成員で国外に所在がある事業者は、様式に記載されていない場合がある。</p>	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：佐賀県木材協会が公開している、佐賀県産建築用木材在庫情報検索システムを利用する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容：事務局が施工構成員に情報発信する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：事務局が定期的施工構成員の受注状況を把握し、プレカットや木材の流通と連携して、必要な地域材の確保を行っていく。	○
c	①-1 畳の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：今年度の使用予定枚数(1畳換算) 90枚	○
	①-2 和瓦の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：今年度の使用予定枚数： 150坪	○
	①-3 襖の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚	○
	①-4 障子の活用 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組 <input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：唐津市景観まちづくり条例等、各市町村が指定した区内では各景観に関する条例のルールに配慮した家づくりをする。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組 <input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容：できる限り、和の住まいの良さを伝えることで、和室のある家づくりを推奨する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。 地産地消を第一に考え、地元の木材や焼き物を含めた地域産業の活性化を推奨する。	○
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	イベントの景品や展示会の来場記念品に東北の商品を採用する。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	お施主様へ井草の量など積極的に提案し活用を促す。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 北部九州ぬくもりのある快適住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 全九州及び広島県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> よか家づくり普及促進会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0195-0739	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<p>・認定低炭素住宅 H25年省エネ基準より10%以上削減 地域材使用の木造住宅。 高効率給湯器・節水機器等使用。</p> <p>共通ルール ・合法木材証明制度による檜(地域材)を土台に使用する。合法木材認証制度による杉(地域材)もしくは合法木材認証制度によるホワイトウッドを柱及び梁桁に使用する。 ・延床面積が125平米で、主要構造材(土台、柱、梁桁)を11立方使用すると仮定した場合、地域材(檜、杉、ホワイトウッド)の1棟当たりの使用量を主要構造材の50%以上概ね5.5立方使用する。 ・地域材は、檜または杉またはホワイトウッドとし、全て乾燥材とする。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。